

目的とねらい

植物の不思議と魅力について四季折々の生きる工夫や戦略を京都府立植物園名誉園長・松谷茂先生（京都府立大学客員教授）や、植物園ガイドが園内を案内しながら説明します。新しい発見があり、植物を觀賞する視点も変わり、何度でも行ってみたいくなることでしょう。

会場

京都府立植物園・植物園会館前集合
植物園正門から入園し東へ約50m

受講料

A・B・C 各コースとも 9,000円

入園料

入園料200円（年間パスポートは1,000円）
温室觀覽の場合は別途200円が必要
70歳以上は入園料・温室とも無料
（年齢証明できるものが必要です）



定員

A・Bコース 各20名 Cコース 30名

責任講師

AB：松谷 茂（府立植物園名誉園長・京都府立大学客員教授）
C：青木 籌子（あおきかずこ）他（植物園ガイド）

日程

全6回 第2金曜日（雨天実施）
A・C 10:00～11:45（集合 9:45）、B 13:30～15:15（集合13:15）

受講申込

A・B・C 複数の申込はできません。

（日程等は一部変更になる場合があります）

①	<p>雨は植物にとって命の水、梅雨なんのその</p> <p>雨は外出を躊躇させる要因になりますが植物にとっては命の水。水を飲んで生き生きしています。</p>	<p>2025年</p> <p>6/13（金）</p>
②	<p>まだ暑い、でも確実に短日に</p> <p>気温は高い、がしかし日長は日に日に短くなる。それを感じる植物が花開く。</p>	<p>9/12（金）</p>
③	<p>紅葉、黄葉、揉みずる→もみじ</p> <p>色を揉み出す→揉みずる→もみじ。秋、「もみじ」する植物は多く、とりわけイロハカエデ(=タカオカエデ)の赤は美しい!</p>	<p>11/14（金）</p>
④	<p>温室植物→心も体もポッカポカ</p> <p>冬は寒い。こんな時こそ温室が面白い。オモロ名前ベスト3。 ①コラ ②アアソウカイ③キソウテンガイ</p>	<p>12/12（金）</p>
⑤	<p>厳寒期、落葉樹のど根性</p> <p>落葉樹は葉を落とし厳しい寒さを迎える準備を整えます。この状態に「枯れた」という表現は間違いだっ！冬芽のド根性をじっくりと觀察。</p>	<p>2026年</p> <p>1/9（金）</p>
⑥	<p>春のきざし</p> <p>気温はまだ低い、日差しもまだ弱い、がしかし植物は確実に春を感じています。</p>	<p>2/13（金）</p>